

能代市総合計画市民協働会議 第5回運営グループ会議

日 時 平成29年10月4日（水）
午後9時00分～午後9時35分
場 所 能代市役所 新庁舎1階 会議室2
出席者 山内委員長、佐々木(亜)副委員長
1班：武田(成)分科会長、伊藤副分科会長
2班：田中分科会長、腰山副分科会長
3班：野村分科会長、永井副分科会長
4班：鈴木(隆)分科会長、池田副分科会長

概 要

1 次回提言に向けた提言内容の調整

初めに、分科会を超えて2班から1班に申し送りされている意見の取り扱いについて、協議が行われました。

1班からは、2班の申し送りを踏まえた上で分科会として協議した結果が検討用フレームワークに反映されているとの説明があり、この件に関しては、市民協働会議としての手続きが踏まれているので問題はないことを確認しました。

これに関連して、参考資料となっていた別冊政策説明に関する各委員の個別意見についても、最終的に形として残す方向で検討することとし、提案書の最後の方に追加する方向で全体会に諮ることとしました。

また、目標指標の協議が終わらなかった2班については、提言までの期間が限られていることを考慮し、10月5日までに田中分科会長が案を事務局へ送信するとともに、Eメール等対応可能な委員にも送信することとしました。

2 次回の進め方について

最終回となる次回の進め方については、初めに、分科会協議として、自分の分科会の内容の最終確認と、他の分科会への疑問等の有無を確認し、次に、全体協議において、各分科会の協議結果を報告、質疑応答を経て最終調整を行い、必要があれば臨時の運営グループ会議を開催することを確認しました。

また、提言を最終決定した後、その場で市長へ提言書を提出することを確認しました。

3 提言書（案）の作成等について

次回の会議が一週間後となるため、提案書の体裁を整える事務作業の都合上、会議資料は当日配布となることを確認しました。

また、おそらく会議前日になるが、正副分科会長には確認のためのEメールを送信することを確認しました。

4 その他

市民協働会議の委員としての今後の関わり方について意見交換があり、「県やNPOの活動でも、協働の考え方の機運が高まっており、どこががんばればいいではなく、全体でネットワークを形成しながら、行政側と市民側がお互いに協力して取組を進めることが重要ではないか」といった意見が出されました。

山内委員長からは、『協働』とは、みんなで一緒にがんばって働く、という意味だと思うので、今後も皆さんで力を合わせて総合計画と一緒に進めていきたい」との話がありました。